

## 公益財団法人いばらき文化振興財団

[法人の概要]

平成26年7月1日現在

代表者名	理事長 林 孝(常勤)	県所管部課	生活環境部生活文化課	
所在地	水戸市千波町後川745	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	<a href="http://www.icf4717.or.jp">http://www.icf4717.or.jp</a>	E-mailアドレス	icf-ga3@icf4717.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000 千円		設立年月日	平成4年7月17日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	30,000	100.0%
	2			
	3			
	4			
	5			
その他				
設立目的	<p>各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として平成4年に設立された。</p> <p>平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を統合し、文化芸術に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及びアクアワールド茨城県大洗水族館の運営を行っている。</p>			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	内 容		
事業1 大洗水族館事業(公2)	1,215,631	1,296,028	1,317,478	大洗水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えた施設として、「展示」、「普及」、「研究」の3つの機能を相互に運動させた魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。		
	全体事業に占める割合	57.5%	54.6%			53.7%
事業2 大洗水族館売店事業(収2)	516,937	565,782	605,853	多くの人が来場する大洗水族館の利用者への利便提供のため、物販・軽食部門の運営を行う。		
	全体事業に占める割合	24.5%	23.8%			24.7%
事業3 文化振興事業(公1)	353,095	415,955	420,128	個性豊かな県民文化の振興を目的として、文化芸術活動への助成及び文化芸術に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの公演事業を実施する。また、県の文化芸術振興の拠点施設である県民文化センターの運営、施設の維持管理及び使用の承認等の事務を行うとともに、利用者への利便とサービスを図る。		
	全体事業に占める割合	16.7%	17.5%			17.1%
その他事業	事業1～3以外	26,872	96,140	111,738	県民文化センター利用者の利便施設として Grill・売店・駐車場の運営を行う。 財団全体の運営について、関係機関と連携を図りながら進行管理を行うとともに、評議員会・理事会を開催するなど法人運営に必要な事業等を実施する。	
	全体事業に占める割合	1.3%	4.0%	4.6%		
全体事業	2,112,535	2,373,905	2,455,197	指定管理者	○	
全体割合	100.0%	100.0%	100.0%			

## ＜ 公益財団法人いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ ＞

いばらき文化振興財団は、各種の文化振興事業を行うことにより、個性豊かな県民文化の振興を図り、国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的に設立され、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行しました。文化芸術に接する機会の提供として良質な舞台芸術公演を行うほか、文化活動団体等への支援及び県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「大洗水族館」の運営を行い、県民の皆様から親しまれる魅力ある施設をめざして運営にあっております。

文化振興事業面では、歌舞伎・クラシック音楽やオペラ公演など様々な舞台芸術を提供するとともに、音楽出前講座などの普及事業を行い、文化の担い手の育成に努めております。

県から指定管理者の指定を受けた県民文化センターにつきましては、平成26年度上半期の施設利用者数は前年度を上回るとともに、大震災前の水準に回復しつつあります。さらに施設整備の実施及び積極的な施設の情報提供などサービスの向上に努めております。

大洗水族館につきましては、夏の特別企画「深海探険」において、ダイオウグソクムシなど話題性の高い深海生物の展示により、夏休み期間において過去2番目の入場者数を記録したほか、大型集客施設での移動水族館及び北関東自動車道沿線を中心とした観光キャンペーンの実施や、日本初となる「歩くサメ」の導入など展示の充実を図り、海の総合ミュージアムとしての機能を十分発揮できるよう努めております。

今後とも、文化振興事業の一層の充実を図るとともに、県民文化センターと大洗水族館がお客様に快くご利用いただけますよう、施設の安全管理と事業展開に努めてまいります。職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

平成27年2月 理事長 林 孝

[経営状況] 公益財団法人いばらき文化振興財団 (単位:千円)

区分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	経常収益	1,943,181	2,412,187	2,544,728	132,541	
	基本財産運用益	510	510	510	0	
	事業収益	1,472,045	2,150,459	2,370,380	219,921	利用者増による事業収益の増
	受取補助金等	63,288	65,812	52,421	△ 13,391	
	その他収益	407,338	195,406	121,417	△ 73,989	
	経常費用	2,112,535	2,373,905	2,455,197	81,292	
	事業費	1,840,014	2,364,153	2,445,916	81,763	利用者増等に伴う経費の増
	管理費	272,521	9,752	9,281	△ 471	
	うち役員人件費	15,657	14,570	13,257	△ 1,313	
	うち職員人件費	732,454	748,755	711,015	△ 37,740	
	評価損益等	0	0	0	0	
	経常増減額	△ 169,354	38,282	89,531	51,249	
	経常外収益	4,825	7,963	8,690	727	
	経常外費用	603	128	457	329	
経常外増減額	4,222	7,835	8,233	398		
一般正味財産増減額	△ 165,132	46,117	97,764	51,647		
指定正味財産増減額	△ 4,825	△ 7,319	△ 8,690	△ 1,371		
正味財産期末残高	2,446,234	2,485,032	2,574,106	89,074		
貸借対照表	資産合計	3,462,729	3,541,263	3,612,531	71,268	
	流動資産	427,646	570,925	448,343	△ 122,582	繰越金から積立資産に積み立てたための減
	固定資産	3,035,083	2,970,338	3,164,188	193,850	繰越金等から積立資産に積み立てたための増
	負債合計	1,016,495	1,056,231	1,038,424	△ 17,807	
	流動負債	205,221	273,909	227,307	△ 46,602	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	811,274	782,322	811,117	28,795	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
正味財産合計	2,446,234	2,485,032	2,574,106	89,074		
基本財産充当額	30,000	30,000	30,000	0		
県財政関与状況	補助金	63,288	58,652	51,921	△ 6,731	
	委託料	218,293	266,449	229,741	△ 36,708	
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	2,000	2,000	2,000	0	
	合計	283,581	327,101	283,662	△ 43,439	
	財政的関与の割合(%)	14.5%	13.5%	11.1%	△ 2.4	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
	借入金残高(期末)	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成23年度	平成24年度	平成25年度	増減P	備考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率		72.1%	72.3%	0.2	
管理費比率	管理費/経常費用	12.9%	0.4%	0.4%	△ 0.0	
人件費比率	人件費/経常費用	35.4%	32.2%	29.5%	△ 2.7	
自己収益比率	自己収益額/経常収益	94.7%	94.0%	96.0%	2.0	
流動比率	流動資産/流動負債	208.4%	208.4%	197.2%	△ 11.2	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成24年		平成25年		平成26年		増減数	増減理由				
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB						
役員	常勤理事・監事	2	0	2	2	0	2	0					
	非常勤理事・監事	12	1	1	13	1	0	12	1	0	理事辞任による減		
	計	14	1	3	15	1	2	14	1	2			
職員	管理職	20	2	0	22	1	0	24	1	0	2	職員前倒し採用による増	
	一般職	52	1	0	49	2	0	49	2	0	0		
	嘱託・臨時職員等	82			93			98			5	臨時5名増(障害者1,職員振替1,療休補助1,産休補助2)	
	計	154	3	0	164	3	0	171	3	0	7		
当期	プロパー職員平均勤続年数	20.3年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成		~20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢	常勤役員平均報酬(年額)	
			15	14	18	26	0	73	42.7歳	5,636.5千円			
												プロパー職員平均給与(年額)	
												5,770.0千円	

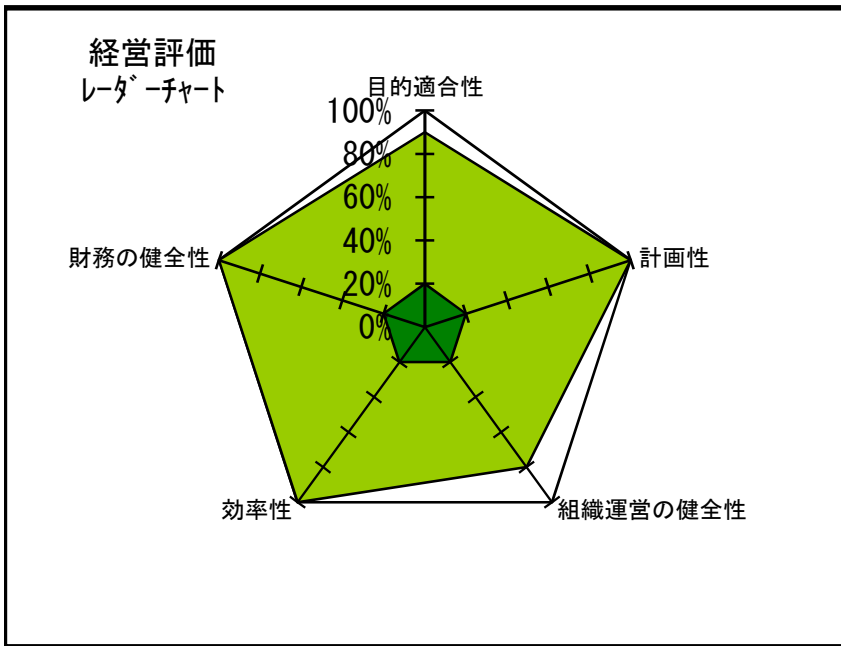
[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	18	20	90%
計画性	8	20	20	100%
組織運営健全性	10	16	20	80%
効率性	11	20	20	100%
財務健全性	9	17	17	100%
合計	47	91	97	94%

公益法人等会計用

公益財団法人いばらき文化振興財団

**警戒指標**



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため文化振興事業、県民文化センター、大洗水族館の運営等を行っている。施設利用者の状況から設立当初と同等の社会的要請があると考えられるので、今後も設立目的に沿った事業運営に努める。	平成25年度の公益財団法人への移行に合わせ、中期経営計画（平成25年度～平成29年度）を策定し、事業別に目標を掲げている。また、財団全体の収支計画を記載し、経営評価項目に沿った計画となっており、これらの目標達成に努める。	事業内容及び予算・決算の状況等について、各事業の広報とともにホームページ上で公開し透明性の確保に努めている。また、企業等OBを嘱託職員に登用し、専門分野の経験を活用することで、さらに組織の活性化及び健全性に努める。	補助金収入及び依存度については、年々減少しており、財政面での県への依存度が低くなってきている。また、人件費及び比率についても同様に減少している。今後はとも効率的な事業運営に努める。	震災等の影響から回復し、前々期から年々正味財産が増加してきており、県民文化センター及び水族館事業においても前期を上回る入場者を確保するとともに、利用料等が増となっている。引き続き誘客促進活動を行うとともに、経費節減に努め、事業収入の確保と効率的な運営に努める。
今後の事業展開の方向	<p>当財団の平成26年度予算規模は、2,843,965千円であり、このうち水族館事業は全体の79パーセントを占め、水族館の運営が財団全体の経営を左右することから、いかに水族館の入場者を確保するかが課題である。このため、入場者確保対策として、新規生物の展示情報や季節ごとのイベント情報など、新鮮な話題を迅速に発信するとともに、北関東自動車道沿線地域を重点的に宣伝活動を展開するほか、閑散期対策等によるPR活動により誘客促進に努め、長期的、安定的な経営を目指すものとする。</p> <p>また、県の文化振興の拠点施設である県民文化センターの運営及び文化芸術に接する機会を提供する公演事業については、収支均衡を保つ運営に努める。なお、公益財団法人及び県民文化センターの指定管理者として、その役割を踏まえ一層のサービス向上に努める。</p>			

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
文化芸術団体への助成をはじめ、文化芸術に接する機会の提供、水族館による「展示・普及・研究」の3つの機能の提供など、本県の文化振興に寄与する事業を推進している。	第2期中期経営計画に基づく経営や自主財源の確保、計画的な施設整備等による利用者の利便性の向上を図っている。さらに、公益財団法人としての使命達成やさらなる経営の効率化を目指している。	財務情報のホームページでの公開をはじめ、経営に係るコンプライアンスを確立するため、法令遵守に関する要項及びガイドラインを制定するなど、適正に運営されている。	人件費率について年々抑制が図られ、運営の効率化が図られている。また、補助金依存度も抑制が図られ、財政面での県への依存度が低減されている。引き続き、効率的な管理運営が維持されるよう指導していく。	大洗水族館の入館者数及び県民文化センターの利用者数は、共に震災前の水準を回復しつつあるが、中期経営計画に掲げた目標の達成に向け、引き続き、誘客促進を展開するとともに、経費節減や収入の確保、効率的な運営に努めるよう指導していく。
<p>法人担当課の意見</p> <p>大洗水族館については、魅力あるイベントの開催や多様なメディアを活用した情報発信により入館者数の確保に努めている。また、県民文化センターについても、多くの方へ質の高い文化芸術に接する機会の提供やクリスマスイルミネーションの実施により賑わいの創出などに取り組み、県民文化の振興に努めたことは評価できる。</p> <p>水族館の入館者数及び文化センターの利用者数ともに震災前の水準に回復しつつあるが、引き続き、一層の誘客促進やサービス向上に努め、利用者数等の確保に取り組むとともに、効率的な運営を図り健全な運営が維持されるよう指導していく。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H23実績	H24実績	H25目標値	H25実績	達成度(%)	H26目標値	
経営目標	事業成果	1 県民文化センター施設全体の利用率	%	74.3	78	80.0	83	100.0%	83
		2 水族館の入場者	千人	865	1,020	1,020	1,093	100.0%	1,050
	健全性	1 流動比率	%	208.0	208	180.0	197	100.0%	180
		2 自己資本比率	%	70.6	70.2	74.0	71.3	96.4%	74
	効率性	1 職員1人当たりの事業収入	千円	10,529	11,729	12,000	12,867	100.0%	12,000
		2 職員1人当たりの当期正味財産増減額	千円	△ 1,118	△ 1,012	200	537	100.0%	200
平均目標達成度							99.4%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	大いに改善を要する等	
総合的所見等	<p>公益目的事業である文化振興事業及び水族館事業ともに利用者数、入場者数が増加するなど、順調な運営を達成している。</p> <p>県は引き続き法人の経営の効率化を指導するとともに、財団運営費補助金の縮減等に努められたい。</p> <p>また、一般正味財産からの充当により形成された多額の特定資産については、具体的な目的、支出計画等を策定するなど、より適切に取り扱われたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>水族館では魅力ある企画展や効果的な誘客促進策の展開などにより入場者数の確保に努め、また県民文化センターでは利用者のサービス向上や閑散期における利用料金の割引制度の活用促進など利用者の確保に努めるとともに、併せて運営経費の節減にも取り組み、財団の経営の効率化が図られるよう指導していく。</p> <p>財団運営費補助については、当該法人が公益財団法人として広く県民に質の高い各種公演を低料金で提供しており、県の文化行政の一翼を担う役割を果たしているため補助しているものであり、引き続き、経営の効率化を進めながら補助対象の点検などを行っていく。</p> <p>特定資産については、財団が規程や要項を策定し、目的及び運用基準等を明確にしながら運営管理を行っているが、支出計画等策定の必要性について検証し、必要に応じ適切な対応を講じるよう指導していく。</p>				